

うな態度をとっているであろうか、これらは余論においてはつきりと示しているので要所を引用しておく。

「燈史と呼ばれる一群の禅の史伝は、その発生の初めから、すべてが要請としての伝承であり、所謂歴史的事実の記録とは、よほど性質の異つたものである。それらをすべて一様に歴史的事実とする誤り以上に、一義的に虚構と断じ去る誤りは大きい。禅の学問的研究の仕事は、先ずそれらの資料の性質を正しく把握することから始められるべきであり、直接に史実を問うことであつてはなるまい。寧ろ、確実な同時代資料といえるものの伝わりぬ初期中国禅宗史については、直接的な史実の断定を留保するところに、かえて禅の歴史的学問的な研究の確かさがあるといえるのではなからうか。」

叢報

昭和42年度開講科目表

| | | | | | | |
|--------|---------|-----|----|----------|---------|-------|
| 実践禅学 | 学長 | 山田 | 無文 | 英語Ⅰ | 講師(兼)西村 | 恵信 |
| 一般教育課程 | | | | ドイツ語(初級) | 講師(兼)橋本 | 崧 |
| 宗教学 | 教授 | 稲岡 | 順雄 | ドイツ語(中級) | 講師(兼)橋本 | 崧 |
| 哲学 | 講師(兼)三村 | 勉 | | 中国語(初級) | 助教授 | 易 |
| 倫理学 | 講師(兼)東 | 専一郎 | | 中国語(中級) | 助教授 | 易 |
| 東洋文学Ⅰ | 教授 | 福嶋 | 俊翁 | 中国語(理論) | 教授 | 医博 山田 |
| 東洋文学Ⅱ | 講師(兼)太田 | 進 | | 体育学(実技) | 講師 | 清水 |
| 社会学 | 教授 | 稲岡 | 順雄 | 専門教育課程 | | |
| 法学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 仏教学科 | | |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 仏教学概論 | 教授 | 藤吉 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 禅宗学概論 | 講師(兼)平野 | 宗浄 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 仏教教理史 | 助教授 | 石川 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 禅学思想史 | 教授 | 柳田 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 印度仏教史 | 助教授 | 高崎 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 中国仏教史 | 助教授 | 高崎 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 日本仏教史 | 教授 | 文博 荻須 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 中国禅宗史 | 教授 | 文博 荻須 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 日本禅宗史 | 教授 | 文博 荻須 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 原始仏教 | 講師(兼)文博 | 西 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 西域仏教の研究 | 助教授 | 高崎 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 天台教学 | 講師 | 鷲阪 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 華嚴教学 | 講師(兼)文博 | 鎌田 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 浄土教学 | 講師(兼)藤原 | 了然 |
| 社会学 | 講師(兼)松本 | 米治 | | 維摩経の研究 | 教授 | 藤吉 |

| | | | | | | | |
|---------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|----|----|
| 金剛經の研究 | 講師(兼)伊藤 東慎 | 倫理学(専) | 講師(兼)東 專一郎 | 仏教民俗学 | 講師 | 橋 | 恭堂 |
| 仏教美術史 | 講師(兼)森 暢 | 社会学(専) | 教授 福岡 順雄 | 仏教美術史 | 講師 | 森 | 暢 |
| 英文仏書 | 教授 藤吉 慈海 | 仏教民俗学 | 講師 橋 恭堂 | 東洋美術史 | 教授 | 堂谷 | 憲勇 |
| 円覚経略疏 | 助教授 石川 良昱 | 史学 | | 仏教教理史 | 助教授 | 石川 | 良昱 |
| 大乘起信論 | 教授 藤吉 慈海 | 史学 | | 禅学思想史 | 教授 | 柳田 | 聖山 |
| 梵語 | 助教授 高崎 正芳 | 史学概論 | 助教授 小野 信爾 | 日本禅宗史 | 教授 文博 荻須 | | 純道 |
| 禅倫理の諸問題 | 教授 市川 白弦 | (前期)日本史概説 | 講師(兼)桜井 景雄 | 国文学科 | | | |
| 馬祖以後の禅 | 教授 柳田 聖山 | (後期)日本史概説 | 教授 福島 雅藏 | 文学概論 | 教授 | 法橋 | 理知 |
| 英文禅録 | 教授 緒方 宗博 | 東洋史概説 | 助教授 小野 信爾 | (後期)日本文学史 | 教授 | 鈴木 | 重雅 |
| 近世の臨濟禅 | 教授 木村 静雄 | 印度仏教史 | 助教授 高崎 正芳 | 国語学概論 | 講師(兼)佐竹 | | 大鑑 |
| 禅文化の研究 | 教授 古田 紹欽 | 中国仏教史 | 助教授 大石 守雄 | 選択科目 | | | |
| 達摩遺文抄 | 教授 柳田 聖山 | 日本仏教史 | 教授 文博 荻須 | (前期)日本史概説 | 講師(兼)桜井 | | 景雄 |
| 南泉語録 | 教授 木村 静雄 | 中国禅宗史 | 教授 文博 荻須 | (後期)日本史概説 | 教授 | 福島 | 雅藏 |
| 碧巖録 | 教授 大井 際断 | 日本禅宗史 | 教授 文博 荻須 | 純道 | | | |
| 景德伝灯録 | 教授 柳田 聖山 | 五山文学 | 教授 福嶋 俊翁 | 日本仏教史 | 教授 文博 荻須 | | 純道 |
| 禅源詮集都序 | 教授 木村 静雄 | 鎌倉仏教の研究 | 講師(兼)宮崎 円遵 | 仏教民俗学 | 講師 | 橋 | 恭堂 |
| 宗教学(専) | 教授 稲岡 順雄 | 大宋僧史略 | 助教授 大石 守雄 | 仏教美術史 | 講師(兼)森 | | 暢 |
| 伝道学 | 講師 池田 豊人 | 諸山開祖伝 | 教授 文博 荻須 | 漢文学 | 教授 | 福嶋 | 俊翁 |
| 選択科目 | | 統群伝部 | | 社会福祉学科 | | | |
| 印度哲学概論 | 教授 藤吉 慈海 | 「禅僧の行状塔銘」 | 助教授 大石 守雄 | 社会福祉学概論 | 教授 | 西原 | 富雄 |
| 東洋哲学史 | 教授 福嶋 俊翁 | 仏教学概論 | 教授 藤吉 慈海 | 社会福祉事業史 | 教授 | 西原 | 富雄 |
| 宗教学概論 | 講師(兼)阿部 正雄 | 禅学概論 | 講師(兼)平野 宗浄 | 社会福祉法制及び | | | |
| 法儀実習 | 講師 小倉 宗徳 | 選択科目 | | 施設経営論 | 助教授 | 竹内 | 啓 |
| 哲学概論 | 講師(兼)三村 勉 | 西洋史概説 | 講師(兼)金子 光介 | 社会政策及び | | | |
| | | 歴史地理学 | 助教授 桑原 公徳 | 社会問題 | 講師(兼)真田 是 | | |

| | | | | | |
|--|---|---|--|--|---|
| 社会心理及び 児童心理 | 助教授 長尾 憲彰 | 西洋史概説 人文地理 地誌学 政治学 社会学(専) 経済学(専) 哲学概論 倫理学(専) 宗教学(専) | 講師(兼)金子 光介 助教授 桑原 公德 助教授 桑原 公德 講師(兼)松本 米治 教授 福岡 順雄 講師(兼)浜崎 正規 講師(兼)三村 勉 講師(兼)東 專一郎 教授 福岡 順雄 | 美術史 美術史 教職課程 教育心理学 青年心理学 教育原理 道徳教育の研究 社会科学教育法 宗教科教育法 教育実習 | 講師(兼)森 暢 教授 堂谷 憲勇 助教授 長尾 憲彰 助教授 長尾 憲彰 助教授 室井 修 講師(兼)山口 三郎 助教授 大石 守雄 講師 池田 豊人 教授 味岡 良平 |
| 公的扶助及び 児童福祉論 ケースワーク グループワーク 社会保障論 コミュニケーション・オーガニ ゼーション | 教授 西原 富雄 講師(兼)野久尾徳美 助教授 竹内 啓 講師(兼)住谷 馨 | 児童社会心理学 宗教哲学概論 日本仏教史 中国仏教史 印度仏教史 仏教学概論 禅学概論 東洋哲学史 印度哲学概論 国語学概論 文学概論 国文学史 漢文学 書道実習 書道史 | 講師(兼)阿部 正雄 講師(兼)萩須 純道 助教授 大石 守雄 助教授 高崎 正芳 教授 藤吉 慈海 講師(兼)平野 宗浄 教授 福岡 俊翁 教授 藤吉 慈海 講師(兼)佐竹 大鑑 教授 法橋 理知 教授 鈴木 重雅 教授 福岡 俊翁 講師 中島 利仁 | 教育行政及び財政 社会教育概論 図書館学 社会教育主事 社会教育概論 社会教育行政及び 教育財政 社会教育方法論 教育原理 教育心理学 社会心理学 成人指導及び 青少年指導 | 講師(兼)山口 三郎 教授 味岡 良平 助教授 石川 良昱 教授 味岡 良平 講師(兼)山口 三郎 教授 味岡 良平 助教授 室井 修 助教授 長尾 憲彰 助教授 長尾 憲彰 助教授 室井 修 |
| 児童福祉方法論及び 特殊児童問題 生活指導 社会福祉学演習 社会福祉学実習 社会福祉学実習 選択科目 社会学概論 社会調査 統計学 精神衛生 倫理学 図書館学(一) | 講師(兼)杉本 一義 講師 大江 憲二 教授 西原 富雄 助教授 竹内 啓 講師 大江 憲二 教授 福岡 順雄 講師(兼)野久尾徳美 講師(兼)福岡 庸 教授 医博 山田 重正 講師(兼)東 專一郎 助教授 石川 良昱 | 国史概論 | 講師(兼)桜井 景雄 | | |

職業教育及び

職業指導

助教授 室井 修

博物館学

講師(兼)森 暢

図書館学(一)

助教授 石川 良昱

学校図書館司書教諭

学校図書館通論

助教授 石川 良昱

図書の整理

助教授 石川 良昱

図書以外の

資料の利用

助教授 石川 良昱

妙心寺派教師資格規程

実践禅学

学長 山田 無文

禅学概論

講師(兼)平野 宗浄

仏教学概論

教授 藤吉 慈海

禅学思想史

教授 柳田 聖山

仏教史

教授 文博 荻須 純道

中国禅宗史

教授 文博 荻須 純道

日本禅宗史

教授 文博 荻須 純道

法儀実習

講師 小倉 宗徳

布教学

講師 池田 豊人

卒業論文題目

昭和40年度

仏教哲学専攻

大乘起信論の研究

磯 昌英

地藏菩薩の研究

青木 勝

仏教的人間像の研究

磯谷 正弘

—撰大乘論を中心として—

六波羅蜜の構造について 上嶋 直樹

—慈悲と布施を中心として—

決定藏論の研究 加藤 文啓

仏頂尊勝陀羅尼經の研究

鯉沼 宜一

阿頼耶識の

宗教学心理学的考察

津森 琢道

薬師如来の研究

藤田 博道

初期仏教に於ける

臥坐所の研究

山本 研峯

大乘玄論の研究

木村 又士

勝鬘經における

一乗思想について

忍 弘明

禅哲学専攻

禅における心の問題

浅野 光一

「菩提達磨南宗定是非論」

の研究

岡田 岩男

大慧書の研究

大矢 剛

—大慧禅における看話の本質—

日本文化と禅思想

河野 通忠

—茶道を中心として—

臨濟録の研究

爾 吼明

禅と言葉

船橋 佳男

—雲門を中心として—

「菩提達磨四行論」の

思想と三論宗

光山 博子

武士道の思想

小畑 成実

血脈論の研究

貝野 勝定

仏教史学専攻

孤峰覚明の研究

浅野 正東

北宗禅について

越後 義昭

初期仏通寺史の研究

大田 良晴

盤珪禅師と

その仮名法語について

木之本安正

滅宗宗興と妙興寺史

鈴木 利明

武田信文と禅僧

曾根 弘全

法燈国師の研究

姫坂 陸義

信長、秀吉の宗教政策

広瀬 真達

愚堂東窠と宝鑑録について

古沢 良秀

至道無難と

仮名法語について

松田 精拙

雲居希膺禅師の研究

三浦 賢裕

夢窓国師の研究

山崎 良明

坐禅論の史的研究

矢多 弘道

方広寺開祖無文元選の研究

池谷 良孝

大応国師仮名法語研究

大橋 右昌

石門心学にみる禅 森田 清信

昭和41年度 弘教学専攻

白隠の仏教思想 天軸 昭

地獄思想について 小栗 芳雄

—靈異記に現れた冥途思想—

原始仏教における 伊藤 勝広

出家の修道について 榎田 秀晴

大乘戒の一考察 小藤 孝志

—般若経による初期大乘戒—

弥勒信仰について 高田 順雄

原始仏教倫理の研究 千田 峰春

社会性における 「罪差」序論 霍間 聡

大乘戒の研究 錦織 義文

—特に三聚浄戒について—

融通念仏の形成について 浜田 全真

—良忍教学の背景—

縁起説の一考察 藤原 正英

黄檗禅の研究 広瀬 本則

ミリンダパンハの研究 堀田 富秀

—涅槃を中心として—

華嚴思想の研究 吉村 道夫

—事々無碍の探究—

鈴木正三の思想 吉村 順二

禅宗学専攻 原人論について

拔隊禅師の禅風について 磯谷 智正

変成男子にみる 決意的人間の禅体験 今井 恵晃

—竜女成仏と女人五障について—

月庵和尚の禅風について 魚住 潤一

東嶺の臨済観 大橋 惠隆

復性書思想 大内 修道

圭峰宗密に於ける 教禅一致論 勝野 久道

絶観論の研究(副) 近藤 清典

五本対照資料編 榊原 寿弘

墨蹟の研究 一特に良寛の書について—

臨済録の思想史的研究 芝原 一三

臨済録における 教外別伝の思想 滝 文教

大乘無生方便門の研究 竜山 正孝

雲居希膺禅師の 道歌に現れた民衆禅 伊達 国雄

蘭溪道隆の坐禅観 堤 敏夫

洪州宗の思想 長崎 浩昭

唐代の初期禅宗に於ける 心経の研究 永田 一道

東嶺禅師 般若心経註について 服部 正明

白隠禅師仮名法語の研究 松田 孝

—夜船閑話に見る大疑小疑—

南陽と上頓教解脱禅門直了性 壇語の思想史研究 森 宏猷

無心論の研究 榊原 洋尚

嫩煌本「六祖担経」の成立に についての研究(副)資料編 八木 信佳

「修心要論」と「観心論」の 研究(副)資料 山本 正明

興禅護国論に於ける 荣西の禅戒思想について 木村 正宏

仏教史専攻 尾張国分寺の研究 小川 正元

地藏信仰について 奥村 素英

清見寺史 清拙正澄の門流 灌峯 義文

宋代以降の念仏禅 宋代之降の念仏禅 高 水梅

—雲棲株宏を中心として—

臨済寺史 後藤 文章

無門慧開禅師について 佐橋 幹彦

本朝伝来宗門

略列僧伝の研究

清陀 七生

夢窓と庭園の研究

豊田 正寛

伊那地方の

禅宗の伝播について

古沢 良道

—特に瑞応寺を中心として—

白隠の研究

中川 忠昭

近世日本における

排仏論の研究

永井 寿一

近世初頭における

東福寺史の研究

永松 成美

—安国寺惠瓊を中心として—

中峰明本とその門下

(副)参考論文

中井 広道

臨済宗における塔頭の研究

松原 潤治

—東福寺を中心に—

木曾と禅宗について

(副)参考資料

松山 芳久

伊達政宗の精神生活

村山 秀允

—虎哉宗乙禅師—

妙心寺の中興について

森 哲外

観音菩薩像の一考察

山路 良一

禅学研究発表大会

(昭和四十一年度)

昭和四十二年一月二十一日、禅学研究発表大会を図書館小講堂において開催した。発表者は左の如くである。

パーリー經典の

田口 勝正

禅観について

塚本 孝之

聖者性

平野 宗浄

—宗教的人格の一面—

加藤 正俊

臨済録の実践哲学の一考察

西村 恵信

正法山六祖伝の

橘 恭堂

書誌学的考察

稲岡 順雄

生存の根拠としての

柳田 聖山

生成について

萩須 純道

禅僧の回因性と

大石 守雄

村落寺院の關係について

森 暢

仮名法語の研究

宮崎 円遵

自殺の倫理

萩須 純道

唐代禅宗史諸問題

萩須 純道

碧雲遺響について

萩須 純道

(昭和四十二年度)

昭和四十三年一月二十七日、禅学研究発表大会が本館第十教室に於て開催された。発表者と題目は次の通りである。

知的直観について

西村 恵信

—シエリング研究(一)—

シエームズ心理学と

塚本 孝之

彼の世界観

加藤 正俊

斯経慧梁について

鷲阪 宗演

智顛の三昧行法について

平野 宗浄

華叟宗曇とその門下

橘 恭堂

大般若経の転説法について

易 陶天

廓然無聖の無について

木村 静雄

白隠の菩提心について

柳田 聖山

中国禅と日本禅

鎌田 茂雄

初唐における三論宗と道教

森 暢

釈教三十六歌仙絵について

宮崎 円遵

南紀における法燈禅の展開

萩須 純道

禅僧の浄土教観

萩須 純道